

郷土博物館

おひなさま展



郷土博物館では、平成十年までに寄託、寄贈していただいた江戸時代末期から昭和初期までの「内裏雛」「押し絵雛」「土人形」「雛道具」など約二百三十点を展示します。

2月9日～3月31日 9時～16時30分

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）

入場料

大人	300円
大学、高校生	200円
小、中学生	100円

お問い合わせは 郷土博物館 TEL 48-2119

スノーバトル 99 in 大館樹海ドーム

～第1回かんぼ秋田県小学生雪合戦大会～

2月14日(日)
大館樹海ドーム
イベント広場

9時～ 開会式
9時30分～ ゲーム開始



その他のイベント

- ・チームロープジャンプ大会
- ・もちつき(JA女性部)
- ・ターゲットバードゴルフ、ミニテニス、フットサルなどのニュースポーツ

お問い合わせは 樹海ドーム ☎45-2500

今年は、全県の小学生チームがドームに集まります。雪合戦のルールは、相手チームの旗を取るか、相手チームの全員に雪玉を当てるかという簡単なものですが、試合は見どころいっぱいです。(テレビ放映も予定されています)

市長リポート

No.175



慎重に準備を進めています
介護保険制度

介護保険制度は、平成十二年四月の導入を目指して着々と準備が進められています。介護保険によるサービスは、保健・医療・福祉の分野に渡っており、各分野の関係機関、施設が一つになって、協力・支援体制をとっていかねばなりません。市では、これまで「いつでも、どこでも」必要なサービスが受けられる体制づくりとしてのトータルケアを唱えてきましたが、介護保険もこのトータルケアの一つとして考えています。

介護保険を導入するにあたり、市が行うべき作業には大きく二つのポイントがあります。一つは認定の問題です。これは、介護が必要かどうかを決めるもので、慎重に行わなければならない大切な作業です。もう一つは、体制づくりです。今ある福祉施設を利用しながら、いかにして、よりよい介護サービスを提供できる体制をつくるかという点です。

介護保険制度の準備や実施にあたっては、いろいろな問題が生じるものと思います。しかし、力強いことに、大館には桂城短大があります。そこには介護の専門家ともいえる先生がたがおり、その力をお借りすることになるでしょう。加えて、桂城短大では、人手不足が心配される福祉に役立つ人材の育成も行っています。

今月からスタートする北部老人総合福祉エリア(仮称)は、福祉に関する情報発信基地として機能するものと期待しています。今後、周辺市町村にも同じような福祉施設ができますが、エリアが介護保険をはじめとする情報発信基地としての位置を占めることになるでしょう。このエリアで蓄積された介護についての情報は、介護保険制度の運営をよりスムーズなものにしてくれます。

小畑 元